



餌付けについて

餌付けは少なからず環境に変化を与えます、その国や地域の条例を守り環境の保護に協力してください。パラオではどんなルールになっているか？皆さんにご紹介します。

多くのダイビングポイントやスノーケリングポイントを管理するコロールステーツレンジャー（コロール州の海の管理人達）は、餌付けは禁止としています。しかし、パラオの中ではミートプロダクツ以外であれば餌付けはOKとも言われています。

ミートプロダクツ以外？どうやらパンはOKというものらしいのです。調理、加工したのものには油や海には存在しないものが含まれます。これはやはりNGですね。ではパンはどうでしょう？食パンにしても水中には存在しない脂質やいろんなものが存在すると思うのですが？もちろん小麦も海にある植物ではありませんね。

餌付けをすることでたくさんの魚が集まり、より間近で魚を観察することができる。水中世界を楽しみたいお客様にとっては嬉しいことですね。けれど、水中環境や魚たちの生態系に与える影響のことをダイビング協議会では心配しています。

パラオの国として全面的な餌付け禁止というルールはありません。そのため、パンで餌付けをしているツアーオペレーションもあります。けれど、自然は自然のままに、餌付けは止めよう。これが私達の意見です。

多くのサンゴと魚たちに出会えるパラオ。

このすばらしい環境を守るため、パラオダイビング協議会では独自に環境・自然保護の取り組みを進めています。

人が海に入ることによって少なからずその環境は変化します。

その変化をいかに小さく抑えていくか、これが私達に課せられた大きなテーマ。

私達にできることから始めていますので、大きな影響力は無いかもしれませんが。

私達が何を考え、どのような活動を行っているのか？

パラオを訪れる皆さんに少しでも知っていただくことで、より大きな環境・自然保護の力につながると思います。

ASOBI : Assistance for Saving Our Beautiful Island この活動が広くパラオへ浸透するよう、私達は今後も努力してゆきます。